

SOAI

相愛ファミリア

相愛大学 www.soai.ac.jp
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4-1
相愛中学校・相愛高等学校 www.soai.ed.jp
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-23

2014
No. 25

familiar

次なる夢に向かって

インタビュー・社会で活躍する卒業生

松岡恒介さん

山形交響楽団トランペット奏者
相愛大学音楽専攻科修了
相愛大学音楽学部卒業



オーケストラで響かせる トランペットの音色

社会で活躍する卒業生

松岡恒介さん

山形交響楽団トランペット奏者

相愛大学音楽学部音楽学科管楽器専攻 2006年3月卒業
相愛大学音楽専攻科楽器専攻 2007年3月修了



トランペット奏者の松岡恒介さんは、相愛大学音楽学部音楽学科管楽器専攻、相愛大学音楽専攻科楽器専攻を修了後、フリーランスとしての活動をへて、2013年6月から山形交響楽団に所属しています。新たなステージで頑張る松岡さんに、今の思いを聞きました。

音楽の先生に誘われて

松岡さんは和歌山県御坊市出身。子どものころから音楽が好きでしたが、まさか将来、トランペット奏者になるとは思っていませんでした。トランペットとの出会いは、中学1年。吹奏楽部の顧問をしていた音楽の先生に誘われて入部。吹くことでいろんな音色を表現できるトランペットに魅せられ、3年の時には音大に行きたいと思うようになりました。

地元の高校に進学してからは市民吹奏楽団に入り、大人たちに交じって演奏活動に参加しました。弦楽器が入ることで色彩豊かな



音が出せるオーケストラが好きだった松岡さんは、相愛オーケストラを擁する相愛大学に進学することを決めました。

切磋琢磨した学生時代

大学の4年間と専攻科の1年間は、練習漬けの日々。授業以外に1日4~5時間の練習を、キャンパスで黙々とこなしました。「僕たちはアスリートと同じで、コンディションが大事」と松岡さん。「このころに学んだ気持ちの持っていく方、リセットの仕方は、今も生きています」

学生自らアンサンブルコンサートを企画する機会もありました。「志の高い友達と高め合うことは、とても刺激になりました」。4回生の時に出演したコンサートでは、相愛オーケストラを背にソロを演奏。「めったにない機会で、忘れられないコンサートになりました」と振り返ります。

卒業後はフリーランスとして活動していましたが、音楽だけで生活していくことは大変でした。それでもコツコツと積み上げた実績や人脈が生きて、オーケストラの客演、ソロやアンサンブルのコンサートや出張演奏、個人や学校でのレッスンなど、多彩な仕事に来るようになりました。そして、第81回日本音楽コンクールで3位入賞を果たしました。

2013年6月、60人ほどで行われた難関のオーディションをくぐって山形交響楽団の一員に。「オーケストラに入ることは長年の夢だったので、うれしかった」といいます。「このオーケストラは、モーツァルトやベートーヴェンが生

きていた時代に使われていた古楽器を使用するなど、こだわっている点が魅力。しかも、一人ひとりのレベルが高くて意欲的です」。現在、トランペット2番奏者として活動していますが、「オーケストラの中での役割を出していきたい。そして将来は、聴衆に“カッコいい”と思ってもらえるような奏者になりたい」と張り切っています。



山形の空気に溶け込んで

雪を被った蔵王や月山に囲まれた山形市に、松岡さんは、すっかり溶け込んでいる様子です。「山形には、まるで北欧の街のような落ち着いた雰囲気があります。音色にも、この空気感を出せればいいですね」

「相愛では素晴らしい環境で学ぶことができます。学生・生徒には、仲間とつながりをつくりながら、精一杯学んでほしい。自分の目指す方向に向かって努力を重ねて、なりたい自分に近づいてください」。松岡さんは後輩たちにも熱いメッセージを送っています。

(取材協力・山形交響楽団)



相愛オーケストラ

今夏、初の「西日本ツアー」

この夏、相愛オーケストラは初めて西日本への演奏旅行を行います。福岡県久留米市、広島市、岡山市、そして大阪市の4カ所を総勢100名の演奏者で巡ります。オーケストラ結成60周年を記念し、また九州・中国地方在住の卒業生から要望が集まったことから、この演奏旅行が実現しました。相愛オーケストラ委員長を務める相愛大学音楽学部の中谷満教授、ヴァイオリンの笠松弥央さん(弦楽器専攻4回生)、トランペットの野上紗奈さん(管楽器専攻4回生)の3名に、ツアーの抱負を語ってもらいました。

相愛大学音楽学部は4月に新入生を迎え、相愛オーケストラも新チームで新たなスタートを切りました。このチームで、結成以来初めての西日本ツアーに挑みます。メンバーは弦楽器60名、管楽器40名の計100名ほどの大所帯。これに教職員らが加わり、総勢140名に及ぶ一団ができました。ツアーでタクトを振るのは、尾高忠明・相愛大学客員教授。現在、NHK交響楽団正指揮者、札幌交響楽団音楽監督等を務める世界的な指揮者です。

西日本ツアーのプログラムは、現代音楽で幕を開けます。吉松隆氏の「朱鷺よよせる哀歌」は、弦楽器のために作られた曲です。笠松さんも野上さんも「抽象的で、とても難しい」と口をそろえます。「同じ楽器でも、一人ひとりが隣の奏者と弾き方が違う構成になっている。責任重大です」と笠松さん。

メンデルスゾーンの名曲に挑戦

続いて披露するのは、メンデルスゾーン3大名曲の一つ、「ヴァイオリン協奏曲 ホ短調」。ここで、長原幸太・相愛オーケストラ講師がヴァイオリン独奏で登場します。長原さんは西日本ツアーで訪れる広島県の出身です。大阪フィルハーモニー交響楽団の首席コンサートマスターを務めた経験があります。

長原さんの演奏を聞いたことがある野上さんは「浮かび上がってくるようなすごい音。ツアーで、また長原さんのコンチェルトを聴けるのがうれしい」。笠松さんも「長原さんのヴァイオリンを引き立てる良い土台をつくりたい」と楽しみにしています。

満を持してチャイコフスキー

締めくくりは、チャイコフスキーの「交響曲第5番 ホ短調」。野上さんは「金管楽器が目立つ、かっこいい曲です」と絶賛。笠松さんも「ホルンが素晴らしい曲」と言いつつ、「ごまかしが利かない曲」と気を引き締めます。中谷教授は「本番では、緊張するからこそ普段の練習とメンタルが大事です」と補足します。

本番での緊張——それを3名は、2月のソチ冬季五輪フィギュア女子のショートプログラムで16位と出遅れた浅田真央選手に重ねます。「演奏はフィギュアと似ているところがあるだけに気持ちが変わる」と言います。浅田選手は翌日のフリーでトリプルアクセルを決め、高得点をたたき出しました。「あの気持ちの切り替えは素晴らしいと思います。私たちが真央ちゃんのフリーの演技を目指したい」と笠松さん。



左から、中谷満教授、笠松弥央さん、野上紗奈さん

実らせたい、粘り強い練習

笠松さんによると、相愛オーケストラの特長は「一つの曲を大事にして、長期間じっくりこいづらに練習して、クオリティーを高めていくところ」。「ツアーでも、特長を生かせるよう、気合を入れて練習していきたい」と張り切っています。また、野上さんも「先生がオンタイムでアドバイスをくれるので、きちんと吸収して本番に臨みたい。西日本のみなさんに相愛オーケストラを気に入ってもらえれば」と期待を寄せます。

中谷教授は「弦楽器・管楽器・打楽器で構成されるオーケストラの魅力、学生たちが高い技術と演奏能力で表現します。彼らの演奏には初々しさがあります。これから飛び立とうとする学生たちの熱意を感じ取ってほしい」と話しています。

西日本ツアースケジュール

福岡公演	8月19日	石橋文化ホール(久留米市)
広島公演	8月20日	HBGホール(広島市)
岡山公演	8月21日	岡山シンフォニーホール(岡山市)
※3公演とも17時半開場、18時半開演		
大人2,000円、学生1,000円(当日は各500円増し)		
大阪公演	10月18日	ザ・シンフォニーホール(大阪市)
※17時半開場、18時半開演		
全席2,500円(当日は500円増し)		

五嶋みどり客員教授 ソリスト参加アルバムが 第56回グラミー賞獲得!

アメリカ音楽界最高の栄誉、第56回グラミー賞の発表・授賞式が2月26日(水)、ロサンゼルスで開かれ、五嶋みどり客員教授(音楽学部)がソリストとして参加したアルバム「パウル・ヒンデミット 作品集」が、最優秀クラシック・コンペンディウム賞を受賞しました。デビューから32年、世界を舞台に活躍し、現代最高のヴァイオリニストとして評価が高い五嶋教授が快挙を達成しました。

五嶋教授は2010年5月に就任し、それ以降は公開レッスンを本学の学生のみならず、一般の見学者をまじえて開催し、最近ではより質の高い指導をするべく、マンツーマンでのレッスンを教室で行うなど、学生のスキルアップにご尽力いただいております。



クリストフ・エッシェンバッハとNDR北ドイツ放送交響楽団の「パウル・ヒンデミット作品集」にソリストとして参加でき、このCDが今回のグラミー賞の最優秀クラシック・コンペンディウム賞を受賞したこと、大変うれしく思います。没後50年を記念して作られたこの作品集は、彼の作品の魅力を残すどころなく伝えていきます。ヒンデミットは私の尊敬する芸術家の一人です。相愛大学で学ばれる学生の皆さんにおいても、彼の作品や人間性に対する理解が深まることを願っています。

2013年度 音楽専攻科修了演奏会



2月15日(土)、ザ・フェニックスホールにて2013年度音楽専攻科修了演奏会が開催されました。11名の専攻科学生により、多彩な曲が演奏され、集まった大勢の観客は熱心に聴き入っていました。

また、専攻科修了演奏会に出演した竹内志織さんには、ステージまでの日々を振り返ってもらいました。

私は小さいころから歌うことが好きで、児童合唱団や合唱部に入って歌に親しんできました。人前で歌う機会が増えると、だんだん「ソロで歌いたい」という気持ちが強くなってきて、高校は音楽科のある相愛高校を選びました。

高校時代に、忘れられない作品との出会いがありました。世界のオペラの中でも上演回数が一番多いといわれるヴェルディの「椿姫」です。ハッピーエンドではなく、最後にヒロインが死んでしまう悲劇のストーリーで、DVDを何度も観ては感動して泣きました。ある日、思い切って担当の先生に「椿姫を歌いたい」とお願いしましたが、「まだまだ難しい」と言われてしまいました。

全身で歌った あこがれの「椿姫」

ソプラノ 竹内志織さん



相愛大学に進んでも先生の許可はなかなか下りませんでした。あきらめませんでした。大学修了後は専攻科に進み、相愛で過ごした通算8年間の音楽生活——。

その集大成となる修了演奏会のステージで歌いたいの、やっぱり「椿姫」しか考えられませんでした。

専攻科後期の10月から2月まで4カ月間、イタリア・ミラノのヴェルディ音楽院に留学しました。この留学中に、椿姫を歌うことが許可されました。ようやくと念願がかなってうれしかったです。現地での練習にも、いっそう熱が入るようになりました。

イタリアの先生は、なかなか言葉が通じず苦戦しました。レッスンの曲の中でも、日本で学んだ発音とは違うところを一つひとつ修正していきました。先生は何をするにもジェスチャーが大きくて、それは日本人とは全く違う点なので、とても影響を受けました。私も、ただ単に歌うだけでなく、全身で表現できる能力を身につけたいと思うようになりました。

専攻科修了演奏会は帰国してすぐでしたが、私なりに、両手を広げたりして、めいっぱい表現しました。先生、家族、友達…たくさんの人が聴いてくれて、「素晴らしい」とか「留学して良かった」などと感想を寄せてくれました。相愛で本格的なオペラを学ぶことができ、そして成長して、よかったと思います。

将来の夢は、オペラ歌手になることですが、音楽で身を立っていくことは厳しいことだと覚悟しています。修了演奏会での、あの喝采を励みに、努力を続けていきたいと思っています。

桂壺之輔さん



桂あやめさん



露の都さん



桂春之輔さん



恒例となった「相愛寄席」。人文学部の公開授業「初歩からの落語文化」の拡大版として、12月12日(木)に本町学舎講堂で賑々しく開催されました。ウエルカム演奏は音楽専攻科生(小西菜央・山下弥生)によるピアノ連弾。相愛ならではの演出に、気分は否が応でも盛り上がりました。

今回は、「夫婦・親子の情を味わう」と題したキャスティング。最初に登場した桂壺之輔さんは「犬の目」を熱演。歯切れのよい語り口は、会場にいたちびっ子にも好評でした。

相愛寄席

笑いと涙につつまれ 今年も大盛況

続いては、最近進境の著しい桂あやめさん。お題は「義理ギリコミュニケーション」。女性ならではのエスプリを随所にちりばめ、客席を大いに沸かせてくれました。このあやめさんとともに、大阪にすい芸人さんがいるなあ、と唸らせてくれたのが、女性落語家第1号の露の都さん。演じたのは「星野屋」。とにかく艶っぽくて面白い。まさに円熟の境地を見せつけられました。

中入り後は、コーディネーターの釈徹宗教授と桂春之輔さんによるミニトーク。毎週授業を担当されているお二人は息もぴったり。そこへ学生スタッフが登場すると会場は一気に華やきました。

続いて、壺之輔さんの司会による大喜利。初めての試みでしたが、笑福亭右喬・桂ほんば娘・桂治門・笑福亭松五の皆さんが持ち味を炸裂させて爆笑に次ぐ爆笑。大阪落語の底力を感じました。

トリはもちろん春之輔さんです。大ネタ「子は鏡」を情感たっぷりに演じてくれました。笑いと涙の30分、情があつての人の世だと改めて教えられました。

年々人気の高まる「相愛寄席」。次回は8月上旬の予定です。お楽しみに。



クリスマス+仏教+アート=メリシャカライブ2013開催

近年「メリークリスマス」を「メリクリ」と略称するそうです。そこで「メリーお釈迦さま」を「メリシャカ」と称して、数年前から有志の若手僧侶たちが活動を行っています。街場のバーなどで法話会を開催するなど、メリシャカのメンバーは地道でユニークな取り組みをしてきました。その活動をうけて、12月15日(日)、本学において「メリシャカライブ2013」が開催されました。メリシャカ・スタッフと本学の教職員・学生スタッフによる手作りのライブ・フェスタでした。

made in 相愛

フタを開けてみると予想を上回る大変な反響となり、これまで一度も仏教と縁がなかった若者たちが押し寄せました。アンケート結果やネットでの感想などを見ても、高い評価をいただきました。相愛大学という場を通じて、さまざまな思いや願いを受け取ってくださったようです。

ライブ開始前からエントランスフロアでは、発達栄養学科有志のみなさんによる「精進スイーツ」のプレゼントが行われました。工夫と意匠をこらした「精進ス

ーツ」は大変な人気で、あっという間に配布終了。その横では、子ども発達学科有志による「キッズスペース」が設けられ、子どもを連れて参加される人を含め多くの注目を集めることとなりました。その他、「腕輪念珠づくり」「写経コーナー」「お焼香体験」「消しゴムはんこ」などいくつかのワークショップが設けられ、どれも大好評でした。無料ドリンクのコーナーもあり、ちょっとした文化祭のような様相でした。

仏教と音楽の融合

一方、ホールでは若手僧侶と本学の聖歌隊による

音楽法要が営まれ、次いで若手僧侶の宮部智雅さんによる法話がありました。毎月の定例礼拝で音楽法要を動いている聖歌隊メンバーだけあって、見事にお坊さんたちと息を合わせていました。

法要を終えた後は、ライブに移行。MCの木下明水さんとDJのTariki Ecoさんによる進行の中、シンガーソングライター・岩崎愛さんのライブ。そして、本学・釈徹宗教授とアジアカンファージュネレーション・後藤正文さんによるトークセッション。最後は後藤正文さんのライブが行われ、とても充実した内容となりました。ホールを埋め尽くした来場者も、仏教の教えと仏教文化と音楽ライブとが融合する場を体感されたようです。

本学では、2013年度から「いかに建学の精神を具現化していくか」ということにあらためて向き合い、本来もっている魅力を発揮するためには、本学の宗教性を活性化させることは大きな課題であろうと思われます。学内の随所に宗教性が発揮される状況を実現することができれば、学内外の求心力が高まるに違いありません。昨年度から、そのための試みがいくつか行われています。「メリシャカライブ2013」も、この取り組みの一環でした。草の根的に活動しているメリシャカと相愛大学とのコラボは、それぞれの特徴を生かした組み合わせであったように思われます。

「メリシャカライブ」の特性はなんといっても「宗教と音楽・アート・芸能」を懸架する姿勢にあります。もともと宗教と音楽やアートは密接に関係しており、互いに刺激し合いながら成熟してきました。世界中どこかの文化圏や宗教においてもこの事情は同じです。その意味において今回のライブ・フェスタのような形態は、「音楽学部」「人文学部」「人間発達学部」の三つを柱とする本学ならではの宗教性を提示できたのではないのでしょうか。

また、今回のような場をクリエイトすることは、学生たちにとって深い学びにつながる可能性を内包しています。学生スタッフは、ミーティングや設営からあと片づけに至るまで、社会人と一緒に行いました。この活動を通じて新しい知見を得た学生もいたようです。

これからも相愛大学の理念と特性をふまえた企画を社会に向けて提供していきたいと考えております。

JINBUN NEWS

キャリア支援科目の取り組み



人文学部人文学科(2013年4月開設)では、「就職に弱い」とされる人文系学部の「弱点」を克服するために「キャリア支援科目」という専門科目群を開講。担当専任教員が打ち合わせを

重ねて科目間での連携を大切に運営しています。その中から、「主体的学習法」(1年前期)と「プレゼンテーション演習」(1年後期)での取り組みを紹介します。

『主体的学習法』の目標は「とにかくやってみる!」「やればできる」ことを実感し、数学への苦手意識を克服するために、マナトレで初歩からの数学を学び直しました。また、自らの経験や視点を生かした新入生歓迎企画を考えるグループ活動などを行い、失敗から学ぶことの重要性を知りました。このグループ活動は、受講生自身の「親睦バーベキュー」の実現にも結びつきました。

『プレゼンテーション演習』は「きちんと形に

する!」を目標に取り組みました。マナトレ(数学)を継続し家庭での学習を習慣づけ、個人作業としてお礼状を書き、頭語と結語や時候のあいさつなど、手紙の形式を学び、グループ作業では企画書の発表から報告書の提出まで、役割分担や質疑応答によって全員で場を作っていくことの大切さを知りました。

このように人文学部では、学生たちが主体的に学び社会で実践できる力を育むさまざまな取り組みを進めています。

日本文化にふれる留学生

留学生歓迎行事のひとつとして、京都の高台寺と清水寺に参詣しました。高台寺はねね様ゆか



りの寺、しっかりと落ち着いた「和」の独特な情緒ある風景に、留学生たちは心を和ませていました。そして、坂を上り清水寺へ。門に着いたところで昼食をむかえ、一旦解散。再度集合して、清水寺に参詣しました。本堂や舞台などを巡った後、もと来た道を辿り、帰途につきました。あいにく

く小雨模様でしたが、多くの留学生が参加し、満足げな顔をしてくれていたのが何よりでした。

有意義な学外研修

学生同士、あるいは学生と教員の親睦を深めるために、5月18日(土)、学外研修を実施しました。人文学部には現在、日本人だけではなく、中国やインドネシアからの留学生が在籍し、共に学んでいます。それらの学生たちが、大阪歴史博物館(中央区)に集合し、大阪の歴史とくらしの変化を体感しました。「歴史を掘る」と題されたワークショップのフロアでは、皆でワイワイ言いながら、「土器復元パズル」や前期難波宮の「復元図パズル」に楽しく取り組みました。

人文学部では、さまざまな国・地域の文化や国際社会について学び、広い視野と豊かなコミュニケーション能力を養うことをめざしていますが、この学外研修を通して、自分たちの住む大阪について知り、見つめなおす機会を持つことができたことはとても意味のあることだったと言えます。そして何より、教室内での講義や演習とはまた違った、有意義な笑顔あふれる交



流のひとつとなりました。

実践教育
No.1

管理栄養士養成課程

現場で**即戦力**となる人材養成をめざして!!

人間発達学部
発達栄養学科



老舗科学「徳」
絶品カレー
好評発売中!!



老舗料亭「徳」と1回生5名が、半年以上の時間をかけて、レトルトカレーを開発。学生が、市販のレトルトカレーの調査・試食、パッケージデザインの企画など幅広く実施し、今までにないおいしさを追求してできたのが「カレー大学」です。学生は「全てがはじめての経験で、考える時間や発想力などの大切さを学ぶことができました」と充実感たっぷりでした。



老舗科学「徳」
第2弾!! 春の新作お弁当
ただ今発売中!!



産学連携弁当開発プロジェクト第2弾が6月からスタートし、1~3回生32名が4種類のお弁当を開発。学生は、コンビニ弁当などのニーズを实地調査した結果や課題をフェイスブック上で報告するなど「客が求める」最高の品質を目標に商品開発に取り組みました。

管理栄養士をめざす学生ならではのバランスを考え、上質な食材をふんだんに使った逸品がで上がり、3月3日(月)から発売されました。学生からは「大学の授業では学べない商品開発の理論がわかり、就職活動の参考になった」という声が聞かれました。

授業で学んだことが実践に!!
第4回 糖尿病予防セミナー



大阪府立急性期・総合医療センターと共催の「糖尿病予防セミナー」

は、世界糖尿病デー(11月14日)に合わせて、11月16日(土)に開催され、159名の方が参加されました。

3回生全員が体験学習コーナーを担当し、学生は「授業で学んだことが実践につながった」「きちんと栄養指導ができる管理栄養士になりたい」と意気込みを話していました。

はじめての食育体験!!
第7回食育推進キャンペーン

2月8日(土)に、南港ポートタウンショッピングセンターにおいて、「食育推進キャンペーン」を実施しました。学生たちは、工夫を凝らした手作りの教材を使って、地域の子どもを対象とした初めての食育に力を発揮しました。野菜、おやつ、朝食をテーマにした各ブースには、来場者が途切れ

ることなく訪れ、530名の方に参加していただきました。「どうしたら子どもに上手く伝えられるかを考えるいい経験になりました」と学生は手応えも十分でした。



第5回食と運動・健康フェスタ
大学間連携による



2月9日(日)、相愛大学と森ノ宮医療大学は、食品企業や地域団体などと連携し、南港ポートタウンショッピングセンターにおいて「食と運動・健康フェスタ」を実施しました。本企画は、地域の方々(延べ590名参加)が、運動・食の問題を身近なものとし、健康意識を高めるきっかけとなることをめざしたものです。管理栄養士をめざしている参加学生にとって、よき学びをいただきました。

国循のご当地かるしおレシピプロジェクト2013
S-1g(エス・ワン・グランプリ)大会 本学で開催!



S-1g大会は1月23日(木)、本学において開催されました。全国から寄せられた355件のうち、事前審査を経たレシピが最優秀グランプリをめざして、大集結! 審査

委員は女優の檀ふみさんや大谷紀美子相愛学園長ら5名の先生方。大谷学園長は「特産品をとでも上手に使われているチームが多いのが印象的でした」とコメントされておられました。

全国規模の一大イベントは、多数のマスコにも取り上げられ減塩の取り組みの広がり、そして何よりも全学あげてのご協力ご支援のもと、盛会に終えることができました。

人間発達学部
子ども発達学科

卒業生とつながる



4月から教壇に立つ学生に「先生力育成教室」

今現場で働いている卒業生が先輩教師として、4月から教壇に立つ学生たちに自分の体験を語ってくれました。



大変なこともあるけれど、「子どもがかわいい」と目を輝かせて語れる先生ってステキ!



先生になる不安もいっぱいだけれど、先輩や仲間たちとの語り合いから勇気をもらった。

1・2年目の先輩たちが、不安や保護者対応・先生同士の人間関係・その他さまざまな困難をどうやって乗り越えていったかについて、キラキラした表情で話す姿に、在学生たちはあらためて先生がやりがいのある仕事だと感じていました。

高校生とつながる

入学前教育

12月21日(土)入学を控えた高校生を対象に「入学前教育」を行いました。「やってみよう!」をテーマに歌やゲーム



遊び、制作活動に挑戦。学びにおいて「人とつながること」「心が動くこと」が大切であることを体験しました。初めは緊張の面持ちでしたが、在学生や仲間たちと一緒に活動するうちに自然と笑顔がこぼれ、活動後の感想でも「大学生活が楽しみになった」という声がたくさん寄せられました。3月にはピアノ初心者を対象にした講座も実施。今後も先生力育成をめざした多数のプログラムを展開します。

夢につながる 未来が輝く

高校生×在学生×卒業生×地域の子どもたち

子ども発達学科では、先生になる夢をつかむため、先生力の育成をめざした学びを、「つながり合い」「学び合い」をキーワードに展開しています。

地域の子どもたちとつながる



ハンドベル隊「リンリンロック」活動5周年

子ども発達学科ハンドベル隊「リンリンロック」は、今年で結成から5周年を迎え、1月23日(木)に学内で記念演奏会を行いました。大谷学園長寄贈のマルマークのベルで、難曲の数々を披露した演奏は、会場に集まった多くの来場者に大きな感動を与えてくれました。ハンドベル隊「リンリンロック」は、学内だけでなく、地域の保育施設でも定期的に演奏活動を行い、子どもたちに感動を届けています。その一つである南港幼稚園での演奏会の様子を紹介いたします。子どもたちの前で演奏するだけでなく、子どもたち自身がベルを持って一



緒に演奏する活動も取り入れています。

子どもたちは、自分が鳴らした音がヒーモニーの一部となって、他の音と共鳴し合う心地よさを感じているようでした。地域の子どもたちが、幼少期に美しい音色やいろいろな音楽に触れ合えるよう、これからも演奏活動を続けていきます。

卒業生が語る 「心のふるさと相愛」



鈴木知華さん 2014年3月 相愛高等学校 卒業

学んだ6年間 団結する素晴らしさ

司会をして楽しく過ごし、また笑顔に戻りました。実は相愛中学を選んだきっかけもイベントでした。姉が在学していたこともあって、小学6年生の時に文化祭をのぞいてみたんです。飾りつけが華やかで、生徒のみなさんがとても楽しそうに素敵な学校だなと思いき、相愛を目指すことにしました。女子校ということで不安も少しはありましたが、入学してみると、「一致団結」という雰囲気があり、イメージとかなり違いました。人とのつながりを強く実感できたことで、とても幸せな日々を過ごすことができました。

影響を受けた「日々の糧」

仏教との出会いも貴重でした。入学前は「お釈迦さまの古い話を聞かされるのだろう」なんて想像していましたが、そうではありませんでした。特に影響を受けたのが、朝夕の礼拝で音読する小冊子「日々の糧」です。その中でも一番気に入っているのが、このページです。

「10日朝」
 苦しいか! そこでへこたれてはならぬ
 悲しいか! そこでしょぼくはならぬ
 出来ないか! そこでなげだしてはならぬ
 我慢するんだ 辛抱するんだ
 そこまでなら 誰でもやれる
 まだまだ 底力があるぞ
 もうーべん もうーべん
 頑張れ! それみよ!
 自分では気がつかなかった
 すごい力が出てきたではないか!

悲しいことがあった時、この言葉が私を助けてくれました。言葉の力で気持ちを切り替えて、すっきりと前を向くことができました。「日々の糧」は、素敵な言葉が詰まった本です。卒業後も時々開いてみたいと思います。

これからの人生、いろんなことがあると思いますが、人からなると言われても揺るがず、自分の道を進みたい。夢に向かって前向きに歩いていきたいと思っています。

鈴木知華さんは、この春、相愛高校を卒業して、大阪芸術大学に進みました。中学・高校と6年間、青春時代を相愛で過ごした鈴木さんが、思い出や今の気持ちを語ってくれました。

思い出が目白押し

私の相愛生活を締めくくった最後のクラスは3年3組。仲が良くて団結力の強いクラスメートとともに、生涯忘れられない思い出をたくさんつくりました。その中でも、文化祭は私にとってとても大切な思い出になっています。

各クラスがいろいろなお店を出して、にぎわいました。私のクラスは唐揚げのお店でしたが、商品の到着が遅れて焦ってしまいました。でも、「唐揚げやってますよー」「みなさん、並んでくださいー」と大きな声で呼びかけたら、すぐに人の列ができて、即ソールドアウト。クラスが一つになった瞬間でした。

文化祭で、私はステージにも出演しました。友達と2人で歌ったり踊ったりしてはげました。気持ちよかったです。私はイベントが好きなん

だなど実感しました。「将来、音楽関係の仕事に就いて、人を楽しませたい」と思うようになったのも、文化祭のおかげです。

相愛で過ごした6年間は本当に充実した学園生活となり、お世話になった先生方、両親、そしてクラスメートのみんなに、感謝の気持ちでいっぱいです。

卒業式は本当に感動的でした。クラスメートが卒業生代表として答辞を読んだのですが、それを聞いて涙があふれてきました。そして「卒業したんだなあ」という実感と、寂しい気持ちがわいてきました。式の後にはパーティーがあって、



楽しい思い出がいっぱいの学生生活



卒業奉告本山参拝 & 帰敬式でおかみそり

2月26日(水)、今春卒業を控えた相愛高校3年生が本山(西本願寺)と大谷本願を訪れ、卒業奉告参拝をしました。同日、希望者94名と大学生、並びに保護者を合わせた総勢107名が帰敬式を受けました。



帰敬式では、厳粛な雰囲気の中で、真新しい式章をかけて合掌する受式者一人ひとりに、ご門主様より、おかみそりがあてられました。原田美奈子さん(高3)が受式者を代表して法名を拝受し、橋本有加さん(高3)がご門主の前で「浄土真宗のみ教をいただく者としての自覚と使命感をあらたにいたしました。親鸞聖人のお心を建学の精神とする相愛学園に学ぶ私たちはお念仏のみ教を大切に苦しみや悩みの多いこの人生を力強く生き抜きます」と帰敬文を読み上げました。



式後、お二人に感想をうかがい、橋本さんは「代表者として受けさせてもらったので、式にのぞむ強い意志を、他の方にもまして持てたと思います」と話し、原田さんは「とても緊張しましたが、このような機会をいただけてとても光栄に思います。いい経験になりました」と語ってくれました。

学校紹介DVD 「希望のバトン」作成プロジェクト



監督:三原光尋
 大阪芸術大学在学中より映像制作をはじめ。代表作に『しあわせのかおり』、『あしたはきっと…』(主演:吹石一恵)、『村の写真集』(上海国際映画祭グランプリ受賞 主演:藤竜也)など。大阪芸術大学客員准教授。
 音楽制作:藤村亘(相愛高等学校 音楽科電子オルガン専攻講師)
 出演:相愛中学・高等学校生徒+教員

プロの映画監督を迎えての短編映画撮影! 相愛中高のPOWERを全国のみなさんへ届けます!

2月末に行ったオーディションを受けた出演者(生徒)は、4つのグループ「月組」、「花組」、「虹組」、「星組」に分けられました。監督から演技指導を受けたり、振付師の石原正一氏から踊りの指導を受けたりと、本格的です。

三原監督が作詞、藤村先生が作曲したサントラは、大学音楽マネジメント学科スタジオにてレコーディング。

4月上旬の完成に向け、着々と進行しています。完成した「希望のバトン」は、中高のホームページにて公開いたします。ぜひ、ご覧ください!

大学

誇りにじむ凛々しい顔つきに
成長感じる春



平成25年度相愛大学卒業証書授与式、相愛大学音楽専攻科修了証書授与式が3月18日(火)、本学南港ホールにて執り行われ、多くのご来賓と保護者の方々が見守る中、今年、音楽学部74名、人文学部92名、人間発達学部119名、音楽専攻科11名が卒業証書・修了証書を受け取りました。式に臨んだ卒業生たちは、社会に旅立つ緊張と決意が入り混じった表情をみせていました。その顔つきからは、この4年間で培った自らの成長への誇りと自信を強く感じさせられました。

ドレスアップして楽しむ
学生生活の締めくくり



卒業パーティー

また、式の後に卒業記念パーティーがホテルニューオータニ大阪にて開催され、友人や恩師と記念撮影などをして、学生生活最後の時間を謳歌していました。

高等学校

涙、のち笑顔で迎えた
旅立ちの時

晴れ晴れとした青空に恵まれて、2月28日(金)、相愛学園本町学舎講堂にて、第66回相愛高等学校卒業証書授与式が挙行されました。多数のご来賓、教職員、在校生が見守る中、誇らしげな顔立ちをした卒業生たちが入場。ビデオカメラを片手に微笑んだり、涙を浮かべる保護者の方々がとても印象的でした。

卒業証書の授与では、各担任から名前を読み上げられ、壇上にて、安井大悟校長より証書が一人ひとりに手渡されました。

そして、卒業生総代として室谷咲紀子さんが答辞を述べました。文化祭などを通して、多くの人たちと一つのことを成し遂げることの難しさ、大切さを学んだことなど、3年間のさまざまな日々を振り返り、自らを成長させてくれた友人たち、先生などに感謝の言葉を述べました。また、客席で見守る母親へ「どんな時でも近くで支えてくれた母に、心から感謝しています」と涙ながらに感謝の想いを告げ、「これからは、支えられるだけでなく、自分の足でしっかりと歩みたい」と新たな決意を述べました。



卒業パーティー

歌に踊りに楽しいひととき

式後、会場をザ・リッツ・カールトン大阪へと移し、卒業記念パーティーが開催されました。ダンスを披露したり、担任の先生に感謝の想いをこめた手紙をプレゼントしたりと、相愛生としての最後のひとときを過ごしました。



中学校

赤い花を胸に
今、新しいスタートを切る

3月14日(金)に津村別院にて卒業奉告参拝、3月15日(土)には本町学舎講堂にて卒業式が行われました。

今年度は55名の相愛生が、その義務教育を終え、自立への大きな一歩を踏み出しました。

一輪の赤いカーネーションを胸に挿して卒業証書を受け取る卒業生の姿は、とても堂々としていて立派なものでした。また、式典の終わりの卒業生によるサプライズの大合唱「旅立ちの



日に」は客席で見守る保護者の目を熱くさせたことだと思います。

卒業式後は有友会主催の卒業茶話会が

あり、保護者の方々、卒業生、教員であたたかいひとときを過ごしました。

松谷ゼミがグランプリ受賞! 西日本インカレ2013

12月15日(日)に大阪経済大学にて行われた、日経BPマーケティング主催の第4回日経ビジネス アカデミック・サポート・プログラム「合同研究会西日本インカレ2013」にて、本学音楽学部音楽マネジメント学科松谷葉子准教授のゼミ受講生による「チームhashigo」が、グランプリを受賞しました。

西日本インカレ2013とは、西日本地区(中部、関西、中国、四国、九州)の大学生のみ参加する経営学系の合同学術発表会で、学生が研究成果をプレゼンテーションし、企業や大学教員の方々が審査するものです。

予選参加チームは全59チーム。関西では、和歌山大学、滋賀大学、大阪市立大学、同志社大学、関西大学、立命館大学、近畿大学など国立大学や有名私立大学が勢揃いしていましたが、本選に残った10チーム中、関西



勢は大阪市立大学、関西大学、そして相愛大学のたった3チームでした。

本選審査員は日経BPマーケティング代表取締役社長の田村俊和様、日経ビジネス編集長の山川龍雄様、(株)資生堂人事部人材開発室長の深澤晶久様、京都大学経営管理大学院教授の日置弘一郎先生の4名。

見事初出場で初優勝という快挙を成し遂げた音楽マネジメント学科の学生たちは、2014年3月発売の『日経ビジネス』にも写真付きで掲載されました。

施設ぞくぞくリニューアル! 練習室 & パソコン教室

「グランドピアノの練習室が欲しい」という、学生さんの要望にやっと応えることができました。この度、2号館4階の練習室に、4台のグランドピアノが入りました。

また、アップライトピアノも複数台新しくなり、練習室の環境がますます良くなりました。2号館1階の教室も内部が改装され、とてもクリーンな空間に生まれ変わりました。



さらに、3号館1階のパソコン教室は、いつもたくさんのお客さんにご利用いただいていることを考慮し、パソコンの台数を増やし、レイアウトも大幅に変え、さらに使いやすくリニューアルしました。

ライトアップされ おしゃれな雰囲気



南港ホール1Fエントランスに、ステンレス素材を用いたモダンな展示ブースが設置されています。

このブースの重厚なレッドカーペットに鎮座するのは、ブリュートナー製のグランドピアノ。2012年12月に、あいおいニッセイ同和損害保険(株)・特別顧問で、本願寺門徒総代会会長でもある岡崎真雄氏より寄贈されたものです。歴史の深さと技術の粋を感じさせるグランドピアノが置かれたエントランスは、ときにはコンサート会場として、また、ときにはライトアップされたおしゃれな雰囲気を発する展示コーナーとして姿を変えながら、多くの来場者を楽しませています。

努力輝く 見事な受賞!

賞状を持ち、喜びを語る林准教授(左)と板倉さん



平成25年度(第68回)文化庁芸術賞 優秀賞(音楽部門)

相愛大学音楽学部 林裕准教授

高い創造性や企画性を基準として部門ごとに審査が行われる平成25年度(第68回)文化庁芸術賞音楽部門において、本学の林裕准教授が優秀賞を受賞されました。

この度の賞は、林准教授が、チェロの名手として有名な巨匠ポッパーの没後100年の節目にポッパーの作品のみで構成、演奏した演奏会が認められ、贈られたものです。

第19回KOBE国際音楽コンクール 優秀賞&神戸市教育委員会賞

音楽学科管楽器専攻 3回生:サクソフォン 板倉峻さん

1月11日(土)に開催された第19回KOBE国際音楽コンクールにて、本学音楽学部の板倉峻さん(音楽学科管楽器専攻3回生:サクソフォン)が見事優秀賞に輝き、あわせて神戸市教育委員会賞も受賞しました。

今回の受賞について、板倉さんは「今回このような賞をいただいた事をとてもうれしく思いま

す。まだまだ未熟で課題は多くありますが、この受賞を一つの強みとして自分の自信につなげていきたい。更なる高みを目指すための良いきっかけにできればと思っています。日々の練習は新たな課題の発見の連続で、音楽は自分が求める限りどこまでも果てなく深く深い世界だと日々考えさせられます。ですがもちろんその素晴らしい演奏家になれるよう、頑張っていきたいです」と感想を力強く述べていました。

コンクール入賞者

【高校 音楽科】

- ジュニアエレクトーンフェスティバル2013
高校の部 銀賞 松本 愛里紗 (高1 電子オルガン)
- 第5回徳島音楽コンクール
電子オルガン部門 高校生の部 銀賞 松本 愛里紗 (高1 電子オルガン)
- 第27回京都芸術祭
音楽部門 毎日新聞社賞・聴衆賞 中村 友希乃 (高3 Vn)
- 第7回ベーター音楽コンクール全国大会
第3位 柳原 史佳 (高3 Vn)

大阪市中央区長から感謝状をいただきました!



私たちの暮らしの安全と安心のために大阪市中央区区内を車輛巡回してくれている青色防犯パトロール隊をご存知ですか?

9月28日(土)に、本学と大阪市中央区は、相互に協力して、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的に、包括連携協定を締結しました。その一つの取り組みとして、中央区内を巡回する防犯パトロール車の巡回用アナウンスを、音楽学部の鈴木紗季さん(音楽学科作曲専攻:当時4回生)・正岡孝志さん(音楽マネジメント学科:当時3回

生)・柴原希穂さん(音楽学科声楽専攻:当時2回生)・岡田智則さん(音楽学科作曲専攻:当時1回生)・藤田柴保さん(音楽マネジメント学科:当時1回生)の5名の学生たちがBGM、ナレーション、録音作業を協力して行い、作成しました。

3月19日(水)、柏木陸照大阪市中央区長より、このアナウンス制作に対して各学生と音楽学部にて、感謝状が贈呈され、その後、新しいアナウンスを携えたパトロール隊の出発式が行われました。中央区内で、パトロール隊を見かけたら、耳を傾けてみてください。



▶ 本学教員の近刊図書

新・日本人論

積徹宗ほか著

「村上春樹」から「きょうりーばみゆばみゆ」まで、この国の顔、21の論点。積徹宗による井上雄彦論をはじめ、目からウロコの新しい日本人論。
●ヴォレジブックス(2013年12月10日発行) 定価1,080円(税込)



目に見えないもの

星の王子さまと10人の探検者たち

積徹宗ほか著

サン＝テグジュペリの『星の王子さま』生誕70周年企画。「たいせつなことはね、目に見えないんだよ……」(『星の王子さま』より)。この問題を10人の探検者が語る。
●講談社(2013年12月20日発行) 定価1,512円(税込)



名人木村徹量の継承者・ 神田唯憲の節談

直林不退著

民衆仏教である浄土真宗を「草の根」の次元で支えてきた説教者の実像を、新出資料を駆使して解き明かした。
●節談社(2014年1月31日発行) 定価3,240円(税込)



平成25年度 退職者一覧

大学 教員	音楽教室
音楽学部 佐藤 康子	藤原 郁子
安井 敏雄	
大岩 元	桑名 志乃ぶ
人文学部 鳥井 正晴	佐竹 愛子
T. C O X	大附 恵美
人間発達学部 山本 和明	有田 順子
浅田 章	出張 和正
細川 速見	森口 貴子
蘆田 昌子	仲林 昌子
並河 信太郎	田中 伸子
渡部 美穂子	佐藤 千佳
村岡 奈々瀬	中島 瑠美
赤利 吉弘	雑賀 和美
高等学校・中学校 教員	小山 郁子
谷 恵津子	
小池 伸也	
細見 美文	
稲垣 明子	
音部 恵美子	
野口 正則	
木下 博之	
岡崎 理奈	



相愛学園 Event Guide

(2014年5月～12月)

Ⓜ = 本町学舎
Ⓝ = 南港学舎

○第3回吹奏楽部定期演奏会
5月3日(土)
Ⓜ 講堂

○市民仏教講座
5月10日(土) 13:30～15:00
Ⓝ 学生厚生館S307 受講無料

○特別奨学生による演奏会
5月13日(火)・14日(水)
Ⓝ ホール 入場無料

○本願寺ミッションスクール交流会
5月16日(金)
Ⓜ 講堂

○ウィンドオーケストラ発表演奏会
5月19日(月)
Ⓝ ホール 入場無料

○親鸞聖人降誕会法要
5月21日(水)
Ⓜ 講堂

○公開講座ヴィオラスペース2014
5月22日(木)
Ⓝ ホール 入場無料

○北御堂相愛コンサート
5月22日(木) 12:25～12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料

○相愛大学オープンキャンパス
5月25日(日)
南港キャンパス

○モニカ・ポッツォ(ミラノ・ヴェル
ディ音楽院教授)声楽公開レッスン
5月27日(火)
Ⓝ ホール 入場無料

○相愛コンサート
(ピアノ室内楽教員による)
5月28日(水) 開場18:10/開演18:30
Ⓝ ホール 入場無料

○ギリヤード・ミシヨリ客員教授
ピアノ公開講座
6月2日(月)
Ⓝ ホール 入場無料

○相愛コンサート
(作曲・創作演奏教員による)
6月3日(火)
Ⓝ ホール 入場無料

○定例礼拝
6月5日(木) 13:20～14:50
Ⓝ ホール 自由参拝

○貴重図書資料展
6月6日(金)～19日(木)
Ⓝ 貴重図書資料室 入場無料

○市民仏教講座
6月7日(土) 13:30～15:00
Ⓝ 学生厚生館S307 受講無料

○中3修学旅行
6月11日(水)～14日(土)

○相愛大学オープンキャンパス
6月14日(土)
南港キャンパス

○相愛中高第1回オープンスクール・
学校説明会
6月21日(土)
Ⓜ 講堂など

○チェロ・アンサンブル演奏会
6月24日(火)
Ⓝ ホール 入場無料

○1回生金管アンサンブル演奏会
6月26日(木)
Ⓝ ホール 入場無料

○北御堂相愛コンサート
6月26日(木) 12:25～12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料

○春期校内大会
6月26日(木)
Ⓜ 体育館

○作曲作品発表会
6月28日(土)
Ⓝ ホール 入場無料

○高3乙女コンサート
6月28日(土)
Ⓜ 講堂

○金管合奏団 演奏会
7月1日(火)
Ⓝ ホール 入場無料

○定例礼拝
7月3日(木) 13:20～14:50
Ⓝ ホール 自由参拝

○市民仏教講座
7月5日(土) 13:30～15:00
Ⓝ 学生厚生館S307 受講無料

○相愛大学オープンキャンパス
7月20日(日)
南港キャンパス

○北御堂相愛コンサート
7月24日(木) 12:25～12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料

○相愛中高第2回オープンスクール・
学校説明会
7月31日(木)
Ⓜ 講堂など

○大阪市中学校文化連盟主催合唱祭
8月1日(金)
Ⓜ 講堂

○相愛寄席
8月2日(土)
Ⓜ 講堂

○相愛大学オープンキャンパス
8月3日(日)
南港キャンパス

○相愛オーケストラ西日本ツアー
福岡公演
8月19日(火)
石橋文化ホール

○相愛オーケストラ西日本ツアー
広島公演
8月20日(水)
HBGホール

○相愛オーケストラ西日本ツアー
岡山公演
8月21日(木)
岡山シンフォニーホール

○北御堂相愛コンサート
8月21日(木) 12:25～12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料

○相愛大学オープンキャンパス
8月22日(金)・23日(土)
南港キャンパス

○相愛中高第3回オープンスクール・
入試説明会
8月30日(土)
Ⓜ 講堂など

○市民仏教講座
9月13日(土) 13:30～15:00
Ⓝ 学生厚生館S307 受講無料

○相愛大学オープンキャンパス
9月14日(日)
南港キャンパス

○北御堂相愛コンサート
9月18日(木) 12:25～12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料

○サクソフォン・アンサンブル演奏会
9月20日(土)
Ⓝ ホール 入場無料

○木管アンサンブルフェスタ
9月30日(火)
Ⓝ ホール 入場無料

○定例礼拝
10月2日(木) 13:20～14:50
Ⓝ ホール 自由参拝

○打楽器アンサンブル演奏会
10月4日(土)
Ⓝ ホール 入場無料

○文化祭(乙女祭)
10月5日(日)
Ⓜ 学舎

○トロンボーンアンサンブル演奏会
10月7日(火)
Ⓝ ホール 入場無料

○高2修学旅行
10月8日(水)～12日(日)

○市民仏教講座
10月11日(土) 13:30～15:00
Ⓝ 学生厚生館S307 受講無料

○バリ・チューバ・アンサンブル
演奏会
10月14日(火)
Ⓝ ホール 入場無料

○相愛オーケストラ
第62回定期演奏会
10月18日(土)
ザ・シンフォニーホール

○相愛中高第4回オープンスクール・
入試説明会
10月18日(土)
Ⓜ 講堂など

○北御堂相愛コンサート
10月23日(木) 12:25～12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料

○雅楽&トークセッション
10月25日(土)
Ⓜ 講堂

○大学祭
10月25日(土)・26日(日)
南港キャンパス

○クラリネット・アンサンブル演奏会
11月1日(土)
Ⓝ ホール 入場無料

○ホルンアンサンブル演奏会
11月4日(火)
Ⓝ ホール 入場無料

○秋期校内大会
11月6日(木)
Ⓜ 体育館

○高3着付け
11月6日(木)
Ⓜ 学舎

○相愛コンサート(声楽教員による)
11月7日(金)
Ⓝ ホール 入場無料

○スラヴォミル・トマシク客員教授
ヴァイオリン公開講座
11月8日(土)
Ⓜ 講堂

○市民仏教講座
11月8日(土) 13:30～15:00
Ⓝ 学生厚生館S307 受講無料

○貴重図書資料展
11月10日(月)～21日(金)
Ⓝ 貴重図書資料室 入場無料

○報恩講法要(定例礼拝)
11月13日(木) 13:20～14:50
Ⓝ ホール 自由参拝

○御内仏報恩講
11月13日(木)
Ⓜ 礼拝室

○高2乙女コンサート
11月15日(土)
Ⓜ 講堂

○高1・高2コーラスコンクール
11月18日(火)
Ⓜ 講堂

○作曲作品発表会
11月22日(土)
Ⓝ ホール 入場無料

○相愛大学オープンキャンパス
11月23日(日)
南港キャンパス

○電子オルガン演奏会 GIFT
11月25日(火)
Ⓜ 講堂

○北御堂相愛コンサート
11月27日(木) 12:25～12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料

○輝くソリストの集い
11月29日(土)
Ⓜ 講堂

○相愛ウィンドオーケストラ
第36回定期演奏会
11月30日(日)
ザ・シンフォニーホール

○トランペットアンサンブル演奏会
12月2日(火)
Ⓝ ホール 入場無料

○成道会法要(定例礼拝)
12月4日(木) 13:20～14:50
Ⓝ ホール 自由参拝

○市民仏教講座
12月6日(土) 13:30～15:00
Ⓝ 学生厚生館S307 受講無料

○成道会法要
12月6日(土)
Ⓜ 講堂

○コントラバス・アンサンブル演奏会
12月9日(火)
Ⓝ ホール 入場無料

○クリストフ・ヘンケル客員教授
室内楽公開講座
12月12日(金)
Ⓝ ホール 入場無料

○フルートオーケストラ演奏会
12月13日(土)
Ⓝ ホール 入場無料

○金管アンサンブルフェスタ
12月15日(月)
Ⓝ ホール 入場無料

○高3室内楽演奏会
12月15日(月)
Ⓜ 講堂

○音楽学古楽実習発表会
12月16日(火)
Ⓝ ホール 入場無料

○北御堂相愛コンサート
12月18日(木) 12:25～12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料